

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。

学校名	宮城教育大学	個人・グループ名	情もの技専とメイキング	作品名	門松
-----	--------	----------	-------------	-----	----

入学してはじめての金属加工の授業科目「金属加工入門」では、切削加工や塑性加工、溶接、鋳造などの講義の後、実習作業を行った。鉄工のこぎりや鉄工やすりなどを用いた手仕上げのほか、ボール盤、旋盤、フライス盤などの工作機械の基本操作も行った。本作品は授業の終盤に、総合的な加工を含んだ実習として取り組んだ「門松」である。いざ作ろうとすると門松の3本の配置や切り口の角度など不確かな部分が多かったのでいろいろ調べながら形状を整えた。はじめての工作機械の操作は緊張したが、上手く加工ができたときには達成感を感じた。安全に作業を進めることができてよかった。各自、自宅に持ち帰り、正月飾りとしていたい。



手仕上げ



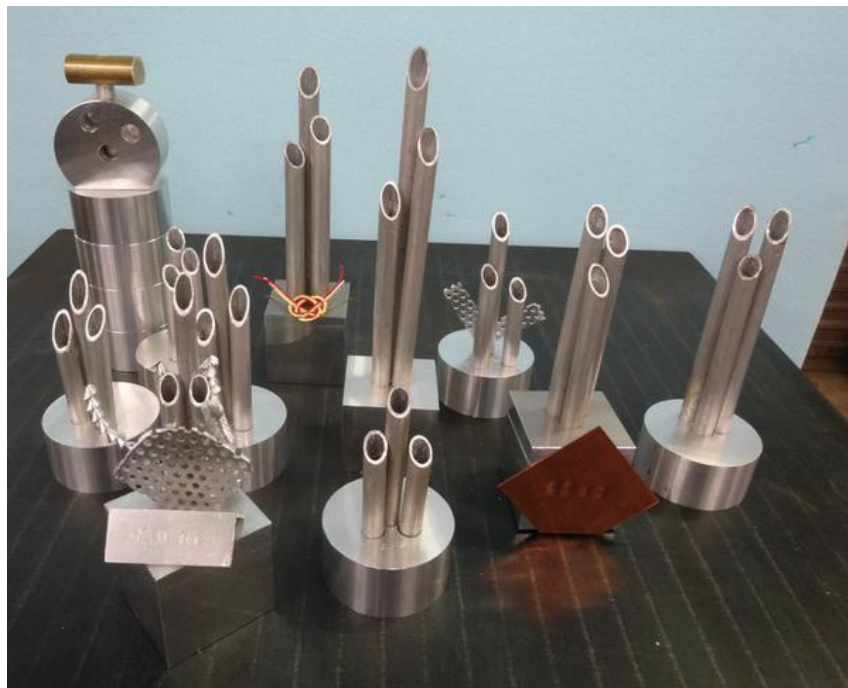
ボール盤



旋盤



フライス盤



完成した門松